2016年国民春闘アピール

労働者・国民のみなさん

　安倍政権は、憲法の基本原則と民意を踏みにじって、アメリカと一緒に戦争する国づくりと、労働者・国民、地域社会を犠牲にした“グローバル競争国家づくり”という「二つの暴走」を、ますます独裁的に加速させています。さらに安倍首相は、改憲を公言し、非常事態を口実とした独裁体制づくりを狙っています。憲法を蹂躙し、立憲主義・民主主義も奪う暴挙です。実質所得が低下する一方で、大企業の内部留保は300兆円を超え、労働者・国民の暮らしは、格差と貧困がかつてなく広がっています。

こうした暴走の結果、国民との矛盾が拡大し、安保闘争以来といわれる世論と共同の広がりによる新たな反撃のうねりを生み出しています。そして、政府も大企業も「賃上げが必要」といわなければならない状況に追い込んでいます。

　この春は、大幅賃上げを実現するチャンスです。全労連は、「時間額150円以上、月額２万円以上」の賃上げ、最低賃金「時間額1,000円以上、日額8,000円以上、月額17万円以上」の実現をめざし、「すべての働く人々の賃金の底上げを実現し、時給1,000円未満の人をなくす」こと、最低賃金をすぐに1,000円以上に引き上げることを掲げ、16春闘に全力で取り組みます。

労働者・国民のみなさん

国民の猛反発を押し切って強行した戦争法で国民の支持を下げた安倍内閣は、「１億総活躍社会」を掲げ、「新三本の矢」と称する具体案をともなわない新たな“騙しの手口”を持ち出して、夏に行われる国政選挙で国民の批判をかわそうとしています。

しかしその本当の狙いは、少子高齢化対策としての社会保障の抑制・解体と、急速に顕在化している労働力不足を低賃金の不安定労働者を増やすことで乗り切ろうとする反動的な対応でしかなく、「企業が最も活動しやすい国」にするための規制緩和であり、「残業代ゼロ」「解雇の自由化」などの労働法制の大改悪です。

労働者・国民のみなさん

2016年春闘は、戦争法を廃止し、憲法を守り活かせる社会をつくるために、そして安倍「雇用改革」をストップさせ、ブラック企業をなくし、安定した良質な雇用を実現し、社会的な賃金闘争をすすめて賃金の引上げ・底上げを勝ち取り、すべての働く人に人間らしいくらしを確立する、歴史的な決起の場となります。私たちは、その勝利に向けて、すべての仲間とともに団結してたたかいます。

労働者・国民のみなさん

私たちは、「STOP暴走政治、戦争法廃止！壊すな憲法　暮らしまもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化」をスローガンに、すべての労働者と国民のみなさんに、2016年国民春闘への結集を呼びかけます。要求実現に向け、ともに立ちあがろうではありませんか。

2016年１月22日

全国労働組合総連合第53回評議員会